

Vol. 28 2023.9

# アフターコロナの図書館へ



- 南側閲覧室レイアウトの一部見直しと座席増設
- 新図書館システムの導入、新規データベースの追加
- 卒業生を含む学外者の利用再開
- 新型コロナの教訓をもとに基本的感染対策は継続中

◆巻頭言 p. 2	2	,	,
-----------	---	---	---

「ようこそ! 大きな図書館サービスの姫路大学の図書館へ」

姫路大学附属図書館 図書館長 和田 幸司

- ◆推薦図書の紹介
  - ・「スモール イズ ビューティフル:人間中心の経済学」

看護学部 看護学科 准教授 中田 涼子

・「まんがで知る デジタルの学び2:創造的な学びが生まれるとき」

教育学部 こども未来学科 講師 阿曽 奈生

- ◆MyOPAC から書評を投稿しよう! p. 5
- ◆附属図書館からのお知らせ p. 6

# ようこそ! 大きな図書館サービスの姫路大学の図書館へ



姬路大学附属図書館 図書館長 和田 幸司

旧2号棟の奥まった場所にある図書館。大学図書館としては小さな図書館に属する姫路大学の図書館で すが、小さな図書館の利用者中心の大きな図書館サービスについて、ご紹介したいと思います。

#### (1) 新図書館システムのご案内

昨年度末に新しい図書館システムを導入し、本年度 4 月より本格稼働しました。新しい図書館システム は蔵書検索をはじめ、新着図書の案内や貸出ランキング、検索回数の多い資料を表示するアクセスランキ ングの表示、相互利用による他大学からの文献複写や図書の取り寄せ申込は外部データベースと連携した 検索タブを使用して円滑に行えるなど、パワフルな機能を持ち合わせたシステムです。

さらに、現在、取り組んでいるのが、このシステムの書評投稿機能の活用です。これまで当館では、約1 年半前に使用を開始したウエブ本棚サービス「ブクログ」の「姫路大学附属図書館の本棚」 (https://booklog.jp/users/himeji-ulib) に、HimeU×Book×Link参加者のおすすめ図書や書評を掲載していましたが、新しい図書館システムのŎPĂČ (蔵書検索)では、MyOPĂČにログインすると当館所蔵資料に対して書評を投稿することができるようになっています。「ブクログ」の「姫路大学附属図書館の本棚」は当館が未所蔵の資料に対してもおすすめとして書評や感想文を掲載することができ、そこに学外の方からも「いいね!」をしてもらえるなどのメリットがありますが、MyOPACの書評投稿機能は本学が所蔵している資料に対して書評を投稿できますので、書評を読んで自分もその本を読んでみたいと思ったらすぐに図書館で借りて読むことができるメリットがあります。どちらも本を読むだけでなく、感じたことをアウトブットし、他の人の書評を読むことで、表現力や批判的思考力を養うだけでなく互いに共感し合うことができます。これらの機能を活用して、本を媒介とした姫路大学生同士のつながりや人とのつながりが育まれ、当館がみなさんの交流するブラットフォームとなり、当館の蔵書や情報源から新たな価値が見いだされていくきっかけとなっていくことを願っています。みなさんの中にはこれまで「ブクログ」を使用してきた方もいらっしゃるかと思います。「ブクログ」だけでなく、当館の OPAC にもみなさんの書評を投稿してみませんか。また、当館の蔵書に加えてほしい図書などがあればぜひリクエストをしてください。

#### (2) HimeU×Book×Link に参加申込をしよう!

HimeU×Book×Link は、大学在学中に本をたくさん読み、読んだ本の情報を皆で共有し合うことで様々な本に出会うこと、また読書力や表現力を身につけることを目的とした当館の読書推進企画です。本を読んで感想・書評を書くと、「ブクログ」上の「姫路大学附属図書館の本棚」で紹介され、ポイントが付与されます。さらに、ポイントの数(感想・書評冊数)に応じて当館から学生生活に役立つ景品をプレゼントしています。

まずは、下のQRコードを読み取って、HimeU×Book×Linkに参加登録をしましょう。





◀HimeU×Book×Link web 申込フォーム

### (3)「ジャパンナレッジ Lib」を利用しよう!

今年度の6月から当館の契約データベースに新たに「ジャパンナレッジLib」が加わりました。

「ジャパンナレッジ Lib」は、辞書・事典を中心にした知識源から「知りたいこと」にいち早く到達するためのデータベースです。日本語や歴史を深く掘り下げて知識を得られる辞典から、英語だけにとどまらない各外国語辞書や東洋文庫などの叢書まで、あらゆる項目の一括検索が可能です。ぜひ、みなさんのレポート作成や卒業論文作成に役立ててください。

幼いころからスマートフォンに親しみ、レポート作成や研究調査においてもスマートフォンを駆使しているみなさんのことですから、情報はいつでもどこでも手元に集められることでしょう。わざわざ、図書館に足を運ばなくても図書館のデジタルリソースにアクセスすることはできます。しかし、同時にみなさんは圧倒される情報の波のなかで、対話型 AI も加わって情報をコントロールする困難さも感じ始めているのではないでしょうか。

図書館は、そうした情報との付き合い方を学んでいく場でもあります。どうぞ、小さな図書館ですが、 大きな図書館サービスを提供している本学図書館にお越しください。





# 「スモール イズ ビューティフル:人間中心の経済学」

講談社学術文庫 E・F・シューマッハー (著) 小島慶三, 酒井懋 (訳) 講談社 1986 年 4 月

看護学部 看護学科 准教授 中田 涼子

配架場所:一般図書コーナー 請求記号:330.4||SCH ラベル番号:0049059 地球環境に配慮した永続的な経済の発展と社会のあり方について、教育、工業資源、 土地、原子力と幅広い分野で課題を深く述べられています。本著の中で提唱された「中間技術」は、世界におけるプライマリーヘルスケア推進の中で「適正技術」として組

み込まれ、社会に与えられた環境や条件に最も有効である技術とその選択について説いています。2000年に提唱された MDGs、2015年からの開発目標 SDGs に現在世界中で取り組んでいますが、経済格差、健康格差はなくなりません。深刻な地球温暖化による気候変動、食への驚異など混とんとしたこれからの世界をどう生きるか、人間ひとりひとりの意識の変化が問われています。量より質を求めたコンパクトな生活の実践を、スモールイズ ビューティフルな生き方を、今だからこそ読み直したい1冊として推薦します。



# 「まんがで知る デジタルの学び2:創造的な学びが生まれるとき」

前田康裕(著) さくら社 2023年7月

教育学部 こども未来学科 講師 阿曽 奈生

この本はただの漫画シリーズではない。学校現場の今を知り、自ら学びを深めていくのに最適な本である。

配架場所:電子資料 文・漫画を手がけた著者は公立小中学校、大学の附属小学校で教諭として勤務した Maruzen eBook Library のち、市教育センター指導主事や公立小学校教頭、教職大学院准教授を経て、現在能 登録番号: E100229 本大学特任教授として活躍されている。

この『まんがで知る~』シリーズでは、学校現場を舞台に教師や児童・生徒、保護者・地域住民が協力し、現在の教育課題と向き合い、解決していく。本書はシリーズ最新作である。1人1台端末が学校現場に普及した今、それらをどのように活用し、創造的な学びを生み出すか、主人公の江渡先生がICT推進リーダーとして悩みながら学んでいく。

これから学校現場のことを学ぶ1、2年生は入門書として読んでほしい。教職キャリアのスタートを切る3、 4年生は章末に紹介されている書籍も読んでほしい。

『まんがで知る教師の学び』、『まんがで知る未来への学び』シリーズと合わせて手に取ってほしい。

今年度4月から本格稼働した新しい蔵書検索システムでは、MyOPACにログインすると書評を投稿することができます。現在、HimeU×Book×Link参加者の感想文と教育学部2年生基礎ゼミのビブリオバトルチャンプ本の書評を掲載しています。これら以外にも、みなさんが読んでためになった本や他の人に薦めたい本の書評を募集しています。ぜひ気軽に投稿してみてください。

### MyOPAC から書評を投稿する方法



Step1. 蔵書検索画面から MyOPAC にログインします。





ログインするための ID・パスワードが不明 な方は当館へお尋ね ください。

Step2. 書評を投稿したい資料を検索し、詳細表示画面を表示させます。



**Step3.** [書評を追加する] をクリックすると表示される書評登録画面に入力して投稿してください。投稿者の実名は公表されません。





Step4. 投稿した書評は図書館で確認後、 公開されます。公開された書評は [新着書評] や [タグ一覧] の「書評あり」からも確認できます。



[あなたのタグ]や[ブックマーク]機能を使用して、「My 書評」などのテーマ名を付けて登録すれば、自分が投稿した書評を管理することもできるよ!



HimeU×Book×Link に投稿した感想文 や書評は、公開の許諾をして頂くと、ブクロ グだけでなく OPAC の書評にも掲載します (図書館が掲載手続きをします)。

+ もっと見る

### 図書館システム変更に伴い利用者専用ページの ID・パスワードが変更されています

新しい図書館システムの利用者専用ページ(マイ・ライブラリ)である「MyOPAC」にログインするための ID・パスワードは、新入生以外の在学生へは図書館カウンターで交付しています。まだ受け取りに来ていない学 生は、図書館カウンターで申し出て受け取ってください。旧図書館システムの利用者専用ページの ID・パスワ ードは使用できませんのでご注意ください。MyOPAC は図書館の蔵書検索(OPAC) 画面と連動した利用者専 用ページ(マイ・ライブラリ)です。各自のログイン ID・パスワードでログインすれば、資料の検索だけでな く、貸出期間の延長や予約申込、学生希望図書リクエスト、他大学等図書館所蔵資料の文献複写・貸借取り寄せ 申し込みや書評の投稿、ブックマーク作成など、便利な機能を利用することができます。

### 新型コロナウイルス感染症対策に伴う利用制限の緩和とサービスの変更を行いました

2023年5月、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことを受け、当館の感染症対策の緩 和とサービスの変更を行いました。

#### 《入館者数制限の終了》

● 入館記録の取得を終了しました。座席数はレイアウト見直しを行い29席から36席に増加しました。 但し、対面となる座席は引き続き利用停止としています(コロナ対策完全解除の場合87席)。

#### 《サービスの変更》

- 図書館間相互利用で取り寄せた文献複写の自宅への配送サービス(送料図書館負担)は終了しました。
- 郵送貸出(送料申込者負担)は、今後は通信教育課程学生と大学院生からの申し込みのみ受け付けます。
- 資料延滞に伴う貸出停止のペナルティ付与を再開しました。
- 2023 年 7 月より、卒業生を含む学外者の方の当館の利用を再開しました。

### | 2023 年 4 月より長期貸出の申請方法を変更しました

学生は通常貸出(図書と雑誌のバックナンバー合計 5 冊・14 日間)とは別途、レポート作成や卒業研究など の研究、実習の際、長期貸出(図書5冊30日間)を利用することができます。2023年4月よりこの長期貸出の 申込手続き方法を変更し、従来必要としていた指導教員の証明(記名・押印)は不要となりました。学生は長期 貸出を利用したいときは随時、長期貸出申請書を図書館カウンターへ提出してください。



#### 姫路大学附属図書館ニュースレター

#### ■編集·発行 姫路大学附属図書館

〒671-0101 兵庫県姫路市大塩町 2042 番 2

TEL: 079-247-7396

E-mail: tosyokan@koutoku.ac.jp

#### 編集後記

約3年前の2019年の年末に発生した新型コロナウイルス *はま風 sea breeze* 第28号 2023年9月27日 (水) 発行 感染症がパンデミックに至り、当館を含め本学教職員は緊迫 した雰囲気に包まれながら、どのようにして感染防止を図り ながら教育研究活動を維持、継続していけるか、一丸となっ て協議を重ね対応してきました。あれから約3年がたち、現 在はアフターコロナへの転換が求められています。当館では この切り替わりと同時期に新しい図書館システムとなりま した。アフターコロナとは言え激動する社会の中で求められ る教育研究機関としての学修・研究支援のあり方を模索しな がら、学生の皆さんが未知や困難に立ち向かい、新しい価値 を生み出す力が得られる図書館となるよう努めて参ります。